



歴史街道
REKISHI KADDO

与謝野モダンの旅

与謝野町観光パンフレット



YOSANO

与謝野の 世界を旅する。

大正期から昭和初期にかけて日本に欧米文化が浸透し、華開いた昭和モダン。時をほぼ同じくして、ここ与謝野町にもそんな華やかで活気に満ちた波が訪れます。ちりめん産業に賑わう町には、洋館が建ち、通りは人とモノが行き交い、新しく鉄道も敷かれました。また、当地出身の与謝野礼蔵を父に持つ与謝野鉄幹や晶子をはじめ、多くの俳人・歌人が訪れ、活況する町に情感あふれる俳句や短歌を添えています。

そして現在、町には当時の昭和モダンと、いにしえと今を繋ぐ新しい名所が調和した、独自のモダン文化・与謝野モダンの空気が流れています。

これまでも、これからも、ずっとモダン。与謝野モダンの旅は、訪れるあなたに憧憬の想いと、新しい感動をもたらします。

旧尾藤家住宅 MAP E-7

京都府指定有形文化財
文久3(1863)年に再建された生糸ちりめん商家で、昭和初期に増築された洋館もあります。尾藤家代々の当主は江戸期に大庄屋、明治以降に丹後銀行頭取、加悦(かや)鉄道社長、加悦町長などを歴任しました。

[料] 大人200円、小・中学生100円
※団体(8名以上)割引あり
[時] 9:00~17:00
[休] 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始
[所] 与謝野町加悦1085 [問] 0772-43-1166

ちりめん産業がもたらした 華やぎの町

丹後ちりめんは、加悦谷地方では、享保7(1722)年に木綿屋六右衛門、手米屋小右衛門、山本屋佐兵衛らが京都西陣より伝えた技術をもとに発祥し、その後峰山藩・宮津藩の保護により地場産業として根付いた、与謝野町を語る上で欠くことができない産業です。大正から昭和30年代までは特に隆盛を誇り、華やく町を創り上げました。

⑨ 旧伊藤医院診療所
京都府指定有形文化財

⑦ 天満神社
京都府指定有形文化財
本殿へは100段以上の急な石段が続きます。加悦谷祭での神輿が石段を下りる様は圧巻!

④ 旧尾藤家住宅(洋館)
京都府指定有形文化財

**ちりめん街道
まるごとミュージアム** 10月下旬
織物や工芸品の展示、昔懐かしいバザー、特産の手作りの加工品などの販売が行われます。

旧加悦町役場
京都府指定有形文化財
ちりめん街道の敷設の際は、この駐車場をご利用ください。

⑩ 杉本家住宅(西山工場)
杉本家住宅の裏手には、丹後に現存する唯一の明治時代のちりめん工場がある。

⑧ 杉本家住宅

⑥ 下村家住宅(丸中商店)

⑤ 下村家住宅(旧郵便局)

② 料理旅館 井筒屋

③ 旧川嶋酒造酒蔵

① 天神橋
独特の風情を醸す天神橋は、昭和9年に架けられました。

ちりめん街道 観光ガイド有 MAP E-7

重要伝統的建造物群保存地区
与謝野町加悦地区の旧街道は「ちりめん街道」と呼ばれ、商家や医院、銀行などかつての町の賑わいを伝える建物が多く残されています。
[問] 旧尾藤家住宅 0772-43-1166

与謝野町観光ガイド
(与謝野町語り部の会)
与謝野町語り部の会では、与謝野町を訪れる皆様に満足していただけるよう、「おもてなしの心」を持ってご案内しています。
■ご案内する観光施設(観光ガイド有)
●ちりめん街道 ●与謝野町立古墳公園
●加悦SL広場
[問] 与謝野町観光協会 0772-43-0155

**往時を物語る
旧加悦町役場の
モダンな佇まい。**

ちりめん街道の北側の入り口に建つ旧加悦町役場は、昭和初期当時の繁栄ぶりを今に伝える建造物です。昭和3(1928)年、前年の丹後大震災で倒壊した庁舎に代わる新庁舎として、当時の町長であった尾藤家11代・庄蔵を中心に計画され、建設資金には西山工場の杉本米治からの寄付金1万円など、計2万1千500円が投じられました。

設計は、阪神甲子園球場や大阪歌舞伎座など時代を代表する建造物を手がけた大林組設計部長・今林彦太郎(宮津市出身)が担当。洋風意匠など、最新の建築技術と工法を用いた耐震的な建物として、近代建築史上、貴重な遺構となっています。

気軽に体験 **ちりめん体験に挑戦!**

機織りから染色まで、伝統的な丹後ちりめんの美しい世界を手軽に体験できます。



手織（てばた）体験では、バッグやテーブルセンターの生地（約30cm）が織れます。1週間前までの予約が必要です。所要時間はいずれも1～2時間程度。

丹後ちりめん

表面の細かい凹凸状の「シボ」が特徴的で、独特の風合いを醸す丹後ちりめん。現在も与謝野町を含む近隣エリアは、和装用白生地織物の国内シェアの約6割を占める一大産地です。



丹後ちりめん歴史館 MAP E-5

老舗の織物会社の跡地に昭和初期の面影を残して整備されたミュージアム。館内では丹後ちりめんに関する資料や写真、珍しい「八丁燃系機」などの展示の他、体験講座もあります。

[料] 入館無料、手織体験（1人）4,800円
※設備と人数の兼ね合いにより、料金や体験時間が変わります。
[時] 9:00～17:00 [休] 無休
[所] 与謝野町岩屋 317 [問] 0772-43-0469



さいしき 彩色友禅染もあります。

型糸目顔料彩色友禅染という本格的な染め付けを手軽に体験できます。自分だけのオリジナルハンカチを作って、旅の思い出にしてください。

- ① 柄選び
- ② 彩色
- ③ 熱で仕上げ（完成）



糸目置きしたハンカチ（天橋立・フクロウ・鯉の滝登り・椿等）で、染め付けしたい柄を選びます。



ハンカチを十文字にして伸子に張り、色とりどりの筆を使い彩色します。



彩色が済めば乾燥させます。その後、顔料を定着させるために生地の裏からアイロンで熱固着します。



与謝野町染色センター MAP F-6

染物の製造や販売の他、一般客が参加できる染色体験教室もあり、毎年、着物や浴衣、綿暖簾（のれん）、絹暖簾などの体験講習会を開催しています。ハンカチや名刺入れ等のオリジナル小物も人気です。

[料] 手描き友禅（綿ハンカチ 1,500円）、絞り染め（綿ハンカチ 500円、Tシャツ 1,500円）ほか
[時] 8:30～17:30
[休] 土・日・祝日
※5名以上の場合は定休日での体験可能（要予約）
[所] 与謝野町算所 421-1 [問] 0772-43-1174

夢織館 シルクロード衣装館 MAP I-4

夢織館では丹後ちりめんの和装小物、ちりめんで作った洋服、風呂敷などのちりめん製品を販売しています。隣接するシルクロード衣装館では「古代オリエント博物館」の監修により再現されたシルクロード7都市の代表的な衣装を展示しています。

（シルクロード衣装館）※夢織館は無料
[料] 大人 300円、小人 200円 ※団体割引あり
[時] 9:00～17:00 ※日・祝は要予約
[休] 日・祝日
[所] 与謝野町弓木 1122 [問] 0772-46-3221



モダンの波を運び入れた加悦鉄道

大正14（1925）年に設立された加悦鉄道は、丹後ちりめんの輸送をはじめ、住民の交通手段として、また、太平洋戦争期には大江山から採掘されたニッケル鉱土の搬出路線として活躍しました。地域に根付いた鉄道は、廃線までの約60年間、多くの人に愛されました。



123号蒸気機関車（加悦鉄道2号機関車）

国指定重要文化財

かつては明治7（1874）年に開通した大阪～神戸間で活躍していた機関車です。加悦鉄道創業に伴い購入され「2号機」と名称変更されました。昭和31（1956）年まで稼働。



加悦SL広場 観光ガイド有り MAP E-8

123号蒸気機関車など27両の貴重な車両を展示する他、珍しい手動式の転車台、場内周遊ミニ列車「ロケット号」などがあり、毎年11月上旬には周年祭が行われます。休憩は車両を改造した「カフェトレイン蒸気屋」で。

[料] 中学生以上 300円、小学生 100円
[時] 10:00～17:00 [休] 無休
[所] 与謝野町滝 941-2 [問] 0772-42-3186



旧加悦鉄道加悦駅舎 MAP E-7

実際に使われていた旧加悦駅舎を移築したもので、洋風の木造2階建ての駅舎前には珍しい腕木式（うでぎしき）信号機や懐かしい郵便ポストがあります。鉄道資料室では加悦鉄道に関する資料を展示しています。

[時] 9:00～17:00
[休] 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始
[所] 与謝野町加悦 433 [問] 0772-43-0155



大正14（1925）年、ちりめん産業を通じての都市部との交流と、地域住民の交通の便を図ることを目的に設立された加悦鉄道。翌年には当時の国鉄連絡駅・丹後山田駅（現KTR野田川駅）～加悦駅間5.7kmが開業し、地域住民の長年の願いが実現します。ここで特筆すべきは、加悦鉄道が村民823名の出資金30万円により敷設されたことです。このような住民主導で生まれた地方鉄道は全国的にも極めて稀で、その他に、近隣地域では唯一の、まち単一の銀行や電力会社などもありました。いずれも、当時のちりめん産業で隆盛したまちの勢いを伝えるエピソードです。

与謝野モダンコンパ
村民823名の出資で生まれた悲願の加悦鉄道。

いにしえと今を繋ぐ 遊びの空間

悠久の時と住民によって、守られ、育まれてきたモノや自然は、今では健康施設や歴史文化の名所、緑豊かな公園に姿を変えて多くの人を迎えています。
いにしえと今を繋ぎ、未来へ伝えるこれらの観光資源も与謝野町の魅力の一つ。
ちりめん文化や歌の世界とは趣の異なる、遊びの空間を一挙紹介します。



与謝野町立古墳公園 観光ガイド有 MAP F-7

国史跡の蛭子山（えびすやま）古墳と作山（つくりやま）古墳を整備した古代歴史公園。大型前方後円墳（145m）をはじめ、円墳や方墳など、4～5世紀に隆盛した丹後王国を偲ばせるバラエティー豊かな古墳がそそります。
【料】大人300円、小・中学生150円 ※団体割引あり 【時】9:00～17:00
【休】3～11月は月曜日、12～2月は月・火曜日（ともに祝日の場合は翌日）、年末年始
【所】与謝野町明石2341 【問】0772-43-1992



石川五右衛門生誕の地

大盗賊として知られる石川五右衛門。「丹後旧事記」によれば、伊久知城（与謝野町機地）の城主・一式義俊に仕えていた石川左衛門尉秀門の次男であるとされています。



ゆみき 弓木城跡

稲富氏により築城された中世の戦乱を象徴する山城遺構。丹後国守護一色氏の最後の拠点でもあります。現在は、標高50m、阿蘇海に向けて付き出た丘陵地に碑が建てられています。



ガラス釦 国指定重要文化財

平成10年に町内の大風呂南1号墓（弥生時代後期）から出土したガラス釦は、国内でも出土例の少ない大変貴重な文化財です。腕輪の放つ鮮やかで美しい青色が、太古の当地の繁栄ぶりを物語ります。



はにわ資料館 古墳公園の敷地内にあり、町内で出土したはにわなどの実物を展示しているほか、まが玉作りの体験（有料）もできます。



リンクル与謝野探訪 (レンタサイクル)

自転車に乗りながらの観光もおおすすめです。自転車は町内6ヶ所のサイクルステーションで借りることができ、利用後は、どのサイクルステーションへ返却してもOK!
【利用期間】4月～12月 【料】1回200円
【時】9:00～17:00
※自転車貸し出しは15:00まで
【問】与謝野町観光協会 0772-43-0155

サイクルステーション

- ①道の駅シルクのまちかや
- ②旧加悦鉄道加悦駅舎
- ③野田川フォレストパーク
- ④丹後ちりめん歴史館
- ⑤KTR野田川駅
- ⑥ドライブインはしだて



加悦双峰公園 MAP D-11

鬼退治伝説で有名な大江山の登山口にある標高約500mの公園・宿泊所。大江山連峰と加悦谷平野を一望することができ、研修棟、バンガロー、オートキャンプ場やキャンプ場なども充実しています。

【料】いずれも1泊料金/バンガロー7,500円、オートキャンプ場4,500円/区画、キャンプ場2,500円/区画
【所】与謝野町謝赤石292-2
【問】0772-43-1581



野田川フォレストパーク MAP F-5

遊歩道や展望台、屋内交流広場のほか16ホールのグラウンドゴルフ場などがあります。ちびっ子広場のローラー滑り台（全長45m）は子どもたちに大人気！バーベキューセットの貸し出しも行っています。

【料】入場無料 ※管理センターやグラウンドゴルフなどの利用は有料
【休】（管理センター）月曜日
【所】与謝野町三河内
【問】0772-42-4411

四季に映える色とりどりの花々



滝の千年ツバキ公園 MAP B-9

京都府指定天然記念物 推定樹齢約1000年、日本最古のヤブツバキとされる「滝のツバキ」が3月下旬から4月上旬にかけて開花し、濃紫紅色の花が緑の枝葉の間を埋め尽くす様は圧巻です。周辺は公園が整備され、開花時期にはイベントも催されます。

【所】与謝野町滝



加悦椿文化資料館 MAP C-8

ツバキの花弁の形を模したユニークな外観で、千年ツバキの里のシンボルとなっています。ツバキをテーマにした絵画や書、陶磁器などが展示のほか、ツバキに関する学習コーナーもあります。

【料】大人200円、小・中学生100円
【時】9:00～17:00
【休】3～5月は月曜日、6～11月は月・火・水曜日（ともに祝日の場合は翌日）、12～2月は冬季休館
【所】与謝野町滝1986
【問】0772-43-2161



雲岩公園 MAP D-5

京都百景・京都の自然200選 4月上旬に約5000本が美しい花を咲かせるツツジの名所です。頂上の雲岩（くもいわ）には、文殊菩薩を護衛する毘沙門天の乗ってきた雲という伝説が残されています。開花時期にはイベントも催されます。

【所】与謝野町雲岩



クアハウス岩滝 MAP J-3

天橋立を望む高台の温泉保養施設。「天の橋立岩滝温泉」を利用した水着着用のバーベキュー（水着レンタル無料）、32mのウォータースライダー付きプール、広々としたラウンジクラウンジ（無料）、ヘルシーメニューが充実したレストランなどがあります。

【料】（入浴・裸浴）大人500円、（全館利用）大人1,200円ほか
【時】10:00～22:00 ※入館は21:30まで
【休】木曜日（祝日の場合は翌日）
【所】与謝野町岩滝470
【問】0772-46-3500



紫陽花

上司谷公園 MAP D-8

「あじさい公園」として地域住民に親しまれ、梅雨の時期には、上司谷川一帯は約3000本のアジサイが咲き誇ります。毎年6月には「あじさいまつり」が開催され、各種模擬店や特設ステージが設けられます。

【所】与謝野町金屋



ひまわり15万本 MAP G-5

毎年開催される与謝野町の夏の風物詩。4.6haの休耕田に約15万本のひまわりが咲き、イベント期間中は「巨大ひまわり迷路」や「どろんこパレード大会」など楽しい企画が盛りだくさん。

【所】与謝野町四辻（野田川わくばる橋）



私たちの中央を縦断する総延長12.2kmのサイクリングロード（自転車歩行者専用道路）は、かつての旧加悦鉄道跡地や河川堤防を利用して作られたものです。線路敷の幅やこう配はそのまま活かされ、コース中やその周辺には当時の加悦鉄道を偲ばせるスポットが点在しています。また、6ヶ所あるサイクルステーションのいくつかは、駅や観光関連の施設に設置されたものです。かつて住民の出入りにより設立され、物資の運搬、住民の交通手段として地域に大きく貢献した加悦鉄道。時を越えて、現在は住民や観光客が気軽に利用できるまちの資源として愛されています。

与謝野モダンコッラ
時を越えて
よみがえった
住民誇りの道。



気軽に体験 アート体験に挑戦！
工芸作家による親切な説明があるので初心者も安心です。陶芸や染色、ガラスクラフトなど、旅の思い出作りには是非。
与謝野町文化・工芸の里 MAP E-9

大江山の麓に、草木染・木工・アクセサリー・七宝焼・陶芸・絵画などの工芸作家の工房が点在しており、工房によっては体験や見学も受け入れています。体験については事前の予約が必要です。
【所】与謝野町金屋地内
①そば工房くり（ガラスクラフト）【問】0772-43-2131
②カフェ工房風夢（七宝焼）【問】0772-43-1398
③クラフト棟（草木染め）【問】0772-43-1354
④工房鍛（とんぼ玉）【問】0772-44-1517



木造女神坐像 国指定重要文化財

いたなみ 板列八幡神社

MAP K-3

平安時代中期の創建で、現在の神明造りの社殿は天保5(1834)年に再建されたもので、縁に囲まれた境内には厳(おごそ)かな空気が流れます。祭神は嘗田別命(はむたわけのみこと)と息長足姫命(おきながたらしひめのみこと)。社室で国指定重要文化財の木造女神座像2体は、息長足姫命と仲津姫命(なかつつめのみこと)と伝われます。

[所] 与謝野町男山

ふるさとの我が松島にくらべ見む
朝霧晴れよ天の橋立 直文
み柱にわが師の名のみ残るにも
ぬかづき申す岩滝の宮 寛
海の気と山の雫の石濡る、
八幡の神の与謝の御社 晶子



与謝野句碑・歌碑巡り

与謝野鉄幹・晶子、
落合直文歌碑 (板列八幡神社)

MAP K-3

昭和5(1930)年5月鉄幹と晶子が板列八幡神社を参拝した際に詠んだ歌です。明治32(1899)年9月に参拝に訪れた、鉄幹の師である落合直文の歌とともに刻まれています。



野田川親水公園

MAP D-8

加悦SL広場に隣接し、大江山連峰から注がれる野田川のせせらぎが心地よい、地域の憩いの場。春には河川敷に植えられた桜が満開になり、花見客などで賑わいます。

[所] 与謝野町滝

夏河を越すうれしさよ手に草履
墓村



与謝野句碑・歌碑巡り

与謝蕪村句碑

(野田川親水公園)

MAP D-8

与謝蕪村が、宝暦4(1754)年からの約3年間、丹後で滞った際に当地で詠んだとされる俳句です。絵画でも活躍した蕪村は、町内滝の施薬寺(せやくじ)に「方士求不死薬図(ほうしふしやくをもとむるのず)」屏風を残しています。

いと細く香煙のごとくあてやかに
しだれざくら枝の重る 晶子

与謝野句碑・歌碑巡り



与謝野晶子歌碑

(江山文庫中庭)

MAP E-9

知人から自宅の庭にシダレザクラを贈られた際に詠んだ歌で、彼女の直筆色紙を信楽焼で再現した色鮮やかな歌碑です。この歌は昭和3(1928)年刊行の歌集「心の遠景」に収録されています。

見も聞きも涙ぐまれて帰るにも
心ぞ残る 与謝のふるさと 礼蔵



与謝野礼蔵歌碑

(道の駅シルクのまちかや)

MAP E-9

事業で国中を奔走していた礼蔵が、徐々に故郷に帰って来た際に詠んだ歌です。礼蔵は療病院や鉱泉場の開設などの公益事業に従事し、その功績から大正6(1917)年に従五位に叙せられています。

ひんがしに日の沈みをる花野哉
虚子



高浜虚子句碑

(道の駅シルクのまちかや)

MAP E-9

日が昇り始める直前の、空と大地の一面の美しさを詠んだ歌。花野とは秋草の咲き乱れた野を意味します。句碑には江山文庫が所蔵する掛け軸に書かれた文字が刻まれています。



与謝野町立江山文庫

MAP E-9

与謝野礼蔵や鉄幹、晶子などの与謝野町ゆかりの歌人や、高浜虚子、山口誓子といった俳人たちの短歌や俳句に関する掛け軸や短冊など、所蔵する作品点数は3000を超えます。企画展をはじめ、江山文庫俳句大賞の開催など、一年を通して、さまざまな地域文化を発信しています。

[料] 大人200円、小・中学生100円

*団体(8名以上)割引あり

[時] 10:00~17:00

[休] 月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始

[所] 与謝野町金屋1682 [問] 0772-43-2180



「方士求不死薬図」(右隻) 与謝蕪村作/施薬寺蔵

京都府指定文化財



「与謝野町」由来の俳人・歌人たち



与謝蕪村 (1716~1784)

松尾芭蕉、小林一茶と並び江戸俳諧の巨匠の一人として知られる蕪村は、享保元(1716)年に摂津国(現大阪府)で生まれ、早野巴人に師事した後、絵画的・浪漫的俳風を生み出し、江戸俳諧の中興を担いました。また俳人であると同時に優れた画家でもあり、池大雅との合作で有名な「十便十宜帖」をはじめ、多くの作品を残しています。



与謝野礼蔵 (1823~1898)

鉄幹の父。文政6(1823)年に丹後与謝郡温江村(現与謝野町温江)の細見儀右衛門の二男として生まれ、幕末期には勤王活動に奔走し、維新後は各種事業に携わりました。歌号は「尚綱(しょうけい)」といい、八木静修(やぎせいしゅう)に歌を学び、大田垣運月(おたがきれんげつ)らと交友がありました。出家し、浄土真宗本願寺派の僧侶となったのち、「与謝野」を名乗ったといわれています。



与謝野鉄幹 (1873~1935)

明治6(1873)年、礼蔵の四男として京都市岡崎に生まれました。本名寛。短歌の革新を唱え、明治27(1894)年に歌論「亡国の音」を発表。明治32(1899)年に「新詩社」を設立し、翌年にはその機関誌である「明星」を創刊し、日本浪漫主義運動を主導しながら北原白秋や石川啄木などの逸材を世に送り出しました。作風は質実剛健で、「ますらおぶり」として知られています。



与謝野晶子 (1878~1942)

鉄幹と結婚し、六男六女の母となる晶子は、明治11(1878)年、堺市の老舗和菓子屋「駿河屋」の三女として生まれました。明治33(1900)年の「明星」創刊とともに新詩社同人となり、翌年に上京。処女歌集「みだれ髪」を刊行し、歌壇に一大センセーションを起こしました。また、日露戦争時、戦地へ赴く弟を想いうたった「君死にたまふことなかれ」なども有名です。

写真: © KYOTOMUSE(京都国立博物館) 財団法人 日本近代文学館

与謝野町には関西俳壇の重鎮青木月斗(1879~1949)や歌人劇作家で知られる吉井勇(1886~1960)、水原秋桜子らと並んで「ポトギス」の四Sと評された高野素十(1893~1976)など、時代を代表する文人たちが訪れています。

昭和2(1927)年には蕪村の足跡と遺墨をもとめて旅した青木月斗が、昭和8(1933)年にはかつての新詩社時代に鉄幹と師弟関係にあった吉井勇が、そして昭和34(1959)年には自身が創刊主宰する「芹」の丹後支部発会式に出席するため高野素十が来訪し、それぞれ抒情性に富んだ作品を残しています。与謝蕪村、与謝野礼蔵、鉄幹、晶子たちとは趣の違う世界に触れることができます。

(吉井勇)
●舞ころも着るべき人をなつかしき縮緬町の加悦谷に來ぬ
●縮緬の祭見に來と書きおこす
●丹後だよりも待たれぬかな
●丹後なる桑飼村はかしこしや
●与謝野の大人の生れましし里(青木月斗)
●大江山を猶大きくす雲の峰
●施薬寺へ上りの逕の蜻蛉哉(高野素十)
●柿の村蕪村の母の墓ありと
●山の寺蕪村屏風を舒て待つ

与謝野路に
趣を添えた
俳人、歌人たち。

いにしえと今を繋ぐ 遊びの空間

悠久の時と住民によって、守られ、育まれてきたモノや自然は、今では健康施設や歴史文化の名所、緑豊かな公園に姿を変えて多くの人を迎えています。
いにしえと今を繋ぎ、未来へ伝えるこれらの観光資源も与謝野町の魅力の一つ。
ちりめん文化や歌の世界とは趣の異なる、遊びの空間を一挙紹介します。



与謝野町立古墳公園 観光ガイド有 **MAP F-7**

国史跡の蛭子山（えびすやま）古墳と作山（つくりやま）古墳を整備した古代歴史公園。大型前方後円墳（145m）をはじめ、円墳や方墳など、4～5世紀に隆盛した丹後王国を偲ばせるバラエティー豊かな古墳がそそります。
【料】大人300円、小・中学生150円 ※団体割引あり 【時】9:00～17:00
【休】3～11月は月曜日、12～2月は月・火曜日（ともに祝日の場合は翌日）、年末年始
【所】与謝野町明石2341 【問】0772-43-1992



石川五右衛門生誕の地

大盗賊として知られる石川五右衛門。「丹後旧事記」によれば、伊久知城（与謝野町機地）の城主・一式義俊に仕えていた石川左衛門尉秀門の次男であるとされています。



弓木城跡

稲富氏により築城された中世の戦乱を象徴する山城遺構。丹後国守護一色氏の最後の拠点でもあります。現在は、標高50m、阿蘇海に向けて付き出た丘陵地に碑が建てられています。



ガラス釦 国指定重要文化財

平成10年に町内の大風呂南1号墓（弥生時代後期）から出土したガラス釦は、国内でも出土例の少ない大変貴重な文化財です。腕輪の放つ鮮やかで美しい青色が、太古の当地の繁栄ぶりを物語ります。



はにわ資料館 古墳公園の敷地内にあり、町内で出土したはにわなどの実物を展示しているほか、まが玉作りの体験（有料）もできます。



リンクル与謝野探訪 (レンタサイクル)

自転車に乗りながらの観光もおおすすめです。自転車は町内6ヶ所のサイクルステーションで借りることができ、利用後は、どのサイクルステーションへ返却してもOK!
【利用期間】4月～12月 【料】1回200円
【時】9:00～17:00
※自転車貸し出しは15:00まで
【問】与謝野町観光協会 0772-43-0155

サイクルステーション

- ①道の駅シルクのまちかや
- ②旧加悦鉄道加悦駅舎
- ③野田川フォレストパーク
- ④丹後ちりめん歴史館
- ⑤KTR野田川駅
- ⑥ドライブインはしだて



加悦双峰公園 **MAP D-11**

鬼退治伝説で有名な大江山の登山口にある標高約500mの公園・宿泊所。大江山連峰と加悦谷平野を一望することができ、研修棟、バンガロー、オートキャンプ場やキャンプ場なども充実しています。
【料】いずれも1泊料金/バンガロー7,500円、オートキャンプ場4,500円/区画、キャンプ場2,500円/区画
【所】与謝野町謝赤石292-2
【問】0772-43-1581



野田川フォレストパーク **MAP F-5**

遊歩道や展望台、屋内交流広場のほか16ホールのグラウンドゴルフ場などがあります。ちびっ子広場のローラー滑り台（全長45m）は子どもたちに大人気！バーベキューセットの貸し出しも行っていきます。
【料】入場無料 ※管理センターやグラウンドゴルフなどの利用は有料
【休】（管理センター）月曜日
【所】与謝野町三河内
【問】0772-42-4411

四季に映える色とりどりの花々



滝の千年ツバキ公園 **MAP B-9**

京都府指定天然記念物 推定樹齢約1000年、日本最古のヤブツバキとされる「滝のツバキ」が3月下旬から4月上旬にかけて開花し、濃紫紅色の花が緑の枝葉の間を埋め尽くす様は圧巻です。周辺は公園が整備され、開花時期にはイベントも催されます。
【所】与謝野町滝



加悦椿文化資料館 **MAP C-8**

ツバキの花弁の形を模したユニークな外観で、千年ツバキの里のシンボルとなっています。ツバキをテーマにした絵画や書、陶磁器などが展示のほか、ツバキに関する学習コーナーもあります。
【料】大人200円、小・中学生100円
【時】9:00～17:00
【休】3～5月は月曜日、6～11月は月・火・水曜日（ともに祝日の場合は翌日）、12～2月は冬季休館
【所】与謝野町滝1986
【問】0772-43-2161



雲岩公園 **MAP D-5**

京都百景・京都の自然200選 4月上旬に約5000本が美しい花を咲かせるツツジの名所です。頂上の雲岩（くもいわ）には、文殊菩薩を護衛する毘沙門天の乗ってきた雲という伝説が残されています。開花時期にはイベントも催されます。
【所】与謝野町雲岩



クアハウス岩滝 **MAP J-3**

天橋立を望む高台の温泉保養施設。「天の橋立岩滝温泉」を利用した水着着用のバーベキュー（水着レンタル無料）、32mのウォータースライダー付きプール、広々としたラウンジクラウンジ（無料）、ヘルシーメニューが充実したレストランなどがあります。
【料】（入浴・裸浴）大人500円、（全館利用）大人1,200円ほか
【時】10:00～22:00 ※入館は21:30まで
【休】木曜日（祝日の場合は翌日）
【所】与謝野町岩滝470
【問】0772-46-3500



紫陽花

上司谷公園 **MAP D-8**

「あじさい公園」として地域住民に親しまれ、梅雨の時期には、上司谷川一帯は約3000本のアジサイが咲き誇ります。毎年6月には「あじさいまつり」が開催され、各種模擬店や特設ステージが設けられます。
【所】与謝野町金屋



ひまわり15万本 **MAP G-5**

毎年開催される与謝野町の夏の風物詩。4.6haの休耕田に約15万本のひまわりが咲き、イベント期間中は「巨大ひまわり迷路」や「どろんこパレード大会」など楽しい企画が盛りだくさん。
【所】与謝野町四辻（野田川わくばる橋）



私たちの中央を縦断する総延長12.2kmのサイクリングロード（自転車歩行者専用道路）は、かつての旧加悦鉄道跡地や河川堤防を利用して作られたものです。線路敷の幅やこう配はそのまま活かされ、コース中やその周辺には当時の加悦鉄道を偲ばせるスポットが点在しています。また、6ヶ所あるサイクルステーションのいくつかは、駅や観光関連の施設に設置されたものです。かつて住民の出入りにより設立され、物資の運搬、住民の交通手段として地域に大きく貢献した加悦鉄道。時を越えて、現在は住民や観光客が気軽に利用できるまちの資源として愛されています。



与謝野モダン工房
時を越えて
よみがえった
住民誇りの道。



気軽に体験
アート体験に挑戦!
工芸作家による親切な説明があるので初心者も安心です。陶芸や染色、ガラスクラフトなど、旅の思い出作りは是非。
与謝野町文化・工芸の里 **MAP E-9**
大江山の麓に、草木染・木工・アクセサリー・七宝焼・陶芸・絵画などの工芸作家の工房が点在しており、工房によっては体験や見学も受け入れています。体験については事前の予約が必要です。
【所】与謝野町金屋地内
①そば工房くり（ガラスクラフト）【問】0772-43-2131
②カフェ工房風夢（七宝焼）【問】0772-43-1398
③クラフト棟（草木染め）【問】0772-43-1354
④工房鍛（とんぼ玉）【問】0772-44-1517

与謝野 催事記

人々により長年受け継がれてきた祭りや伝統芸能は、与謝野町の貴重な文化遺産。与謝野町で出会うこれらの催しは、旅をより思い出深いものへと変えてくれます。



子供歌舞伎



笹ばやし

加悦谷祭 4月最終土・日曜日

祇園祭の流れをくむ加悦谷最大の例祭です。子供歌舞伎や笹ばやしの奉納、神輿、屋台の巡行など、各地区の神社ごとに特色ある例祭が盛大に催されます。

[所] 与謝野町加悦・野田川(一部を除く)地域



岩滝大名行列 5月(予定)

10年に一度開催される大イベント。江戸時代の参勤交代を再現したもので、約500mにおよぶ行列が、町内各地を練り歩きます。その豪華さから「岩滝の一万両祭」とも呼ばれています。

[所] 与謝野町岩滝地域



岩滝神楽



太刀振り

岩滝祭 5月1日

岩滝地域にある各神社の例祭で、宮中に入る神楽の中でも最高の格式を誇る「岩滝神楽」をはじめ、太刀振りなどが奉納されます。

[所] 与謝野町岩滝地域



三河内曳山祭 5月3日、4日

京都府登録無形民俗文化財。織物の神様を奉る倭文(しどり)神社の春季例祭。3日の宵宮では青年屋台と子ども屋台の12台、4日の例祭では豪華絢爛な4台の山屋台をはじめ12台が巡行する「曳山行事」が行われます。

[所] 与謝野町三河内地区

イベントカレンダー

2月3日	節分大祭(出雲大社殿分祠)
4月上旬	雲岩公園つつじ祭
4月中旬	滝の千年ツバキまつり
4月最終土・日曜日	加悦谷祭
5月1日	岩滝祭
5月3・4日	三河内曳山祭
5月4日	双峰まつり(加悦双峰公園)
5月(予定)	岩滝大名行列(10年ごとに開催。平成23年の予定)
5月上旬(2日間)	初夏の加悦鉄道まつり(加悦SL広場)
6月下旬	金屋あじさいまつり(上司谷公園)
8月上旬	ひまわり15万本
9月下旬日曜日	よさの大江山登山マラソン
10月中旬	大内峠紅葉まつり(大内峠一宇観公園)
10月下旬	ちりめん街道まるごとミュージアム
11月上旬	YOSANOオータムフェスティバル
11月上旬	加悦SL広場周年祭
11月上旬	道の駅周年祭(道の駅シルクのまちかや)
11月上旬	りんご祭り(喫茶あつるふぁーむ周辺)

与謝野 逸品自慢

町内から集められた選りすぐりのおみやげです。自然が育んだ地元の素材で丁寧に作られた食べ物や、職人の手がけたちりめん細工など、どれもがここでしか出会えない逸品ばかり。

地酒



食品



絹製品



工芸品



お買い物はこちら



道の駅 シルクのまちかや MAP E-9

京阪神から丹後地域へのルートのひとつである国道176号線沿い、大江山の麓にある道の駅。シルク製品や地元野菜が豊富にそろった特産品コーナー、喫茶・軽食コーナー、情報スペースがあります。

[時] (平日) 10:00~17:00 ※土・日・祝日は18:00まで [休] 無休
[所] 与謝野町滝 98 [問] 0772-43-0390



ドライブイン はしだて MAP L-3

シルクパウダーを使ったオリジナル商品「ちりめん納餅」をはじめ、ちりめん小物や海産物など地元の特産がそろいます。丹後の郷土料理「ばら寿司」をアレンジした「手こね寿司」も人気です。

[時] 9:00~17:30 [休] 無休
[所] 与謝野町男山 801-4 [問] 0772-46-4500



丹後ちりめん 歴史館 MAP E-5

本格的な反物から手軽なハンカチなどの和装小物まで、バラエティー豊かな丹後ちりめん製品がそろいます。アウトレットとして絹生地ハギレやブランドスカーフなど約300種の展示販売もあります。

[時] 9:00~17:00 [休] 無休
[所] 与謝野町岩屋 317 [問] 0772-43-0469



クアハウス岩滝 MAP J-3

健康づくりがテーマの施設らしく、内容も健康増進美容品をはじめ、ちりめん製品やシルク製品など、特に女性客にうれしいお土産が充実しています。

[時] 10:00~22:00 ※入館は21:30まで
[休] 木曜日(祝日の場合は翌日)
[所] 与謝野町岩滝 470 [問] 0772-46-3500



宿 泊 施 設

かや山の家

MAP G-8

青少年の野外活動センターとして、小・中学校の林間学校としてなど、各種団体の研修会や観覧会に最適な宿泊施設。昔ながらの民家の趣を取り入れた建物で、利用料もリーズナブルです。

【料】1泊2食付 5,985円、1泊朝食付 3,885円ほか
※季節料理など予算に応じた対応可
【休】水曜日（利用がある場合は営業）
【所】与謝野町温江 1401 〔問〕0772-43-0860

京都府野田川コースセンター

MAP E-5

野田川フォレストパークの緑に囲まれた小高い丘に建つ、ベンチ風モダンな宿泊・研修施設。100人収容可能な音楽ホールもあり、会場や演奏の発表会、パーティーや披露宴などに利用できます。

【料】1泊2食付～(大人)、朝食 630円・昼食 840円～
夕食 1,680円～
【休】12/31、1/1
【所】与謝野町三河内 48 (野田川フォレストパーク内)
【問】0772-42-2000

橋立ベイホテル

MAP K-3

天橋立を望む緑に包まれた高台に佇む欧風リゾートホテルです。館内にはハーブの香りが漂い、「レストランフィニッシュエピソード」では季節の地元食材を使った本格的な創作フランス料理が楽しめます。

【料】1泊2食付(平日) 13,600円～、(休日) 15,000円～
【所】与謝野町若津 68 〔問〕0772-46-6100

岩滝温泉 ホテル喜楽家

MAP K-3

横一文字の天橋立を望む、阿蘇海のほとりに建つホテルです。日帰り利用の可能な天然の岩滝温泉「はのかの湯」は、日本国内の露天風呂などで増能でき、リウマチなどに効果があります。

【料】1泊2食付 15,750円～、日帰り入浴 800円
【所】与謝野町山81 〔問〕0772-46-3351

料理旅館 井筒屋

MAP E-7

創業 100 年の歴史を持つ老舗旅館で、ちりめん産業の全盛期には毎晩のように織り元の宴会が催されました。旬の丹後の海の幸、地元食材を使った医食同源の会席料理が名物です。

【料】1泊2食付 8,980円、1泊朝食付 6,000円
【休】元日 〔所〕与謝野町加悦 1050
【問】0772-42-2012

丹後天橋立大江山国定公園

世界高原地区

丹後半島海岸地区

大江山道峰地区

2009年8月、与謝野町および近隣エリアは、世界高原地区、丹後半島海岸地区、大江山道峰地区からなる丹後天橋立大江山国定公園に指定されました。

本誌に掲載されている情報は2010年3月現在のものです。詳しくは、各施設へお問い合わせください。

